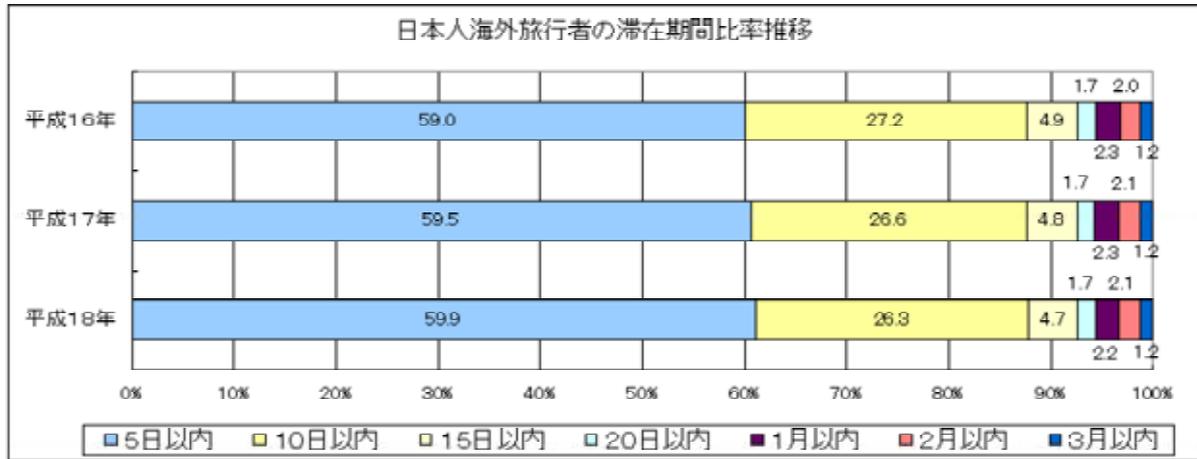


ウ 日本人海外旅行者の滞在期間比率推移

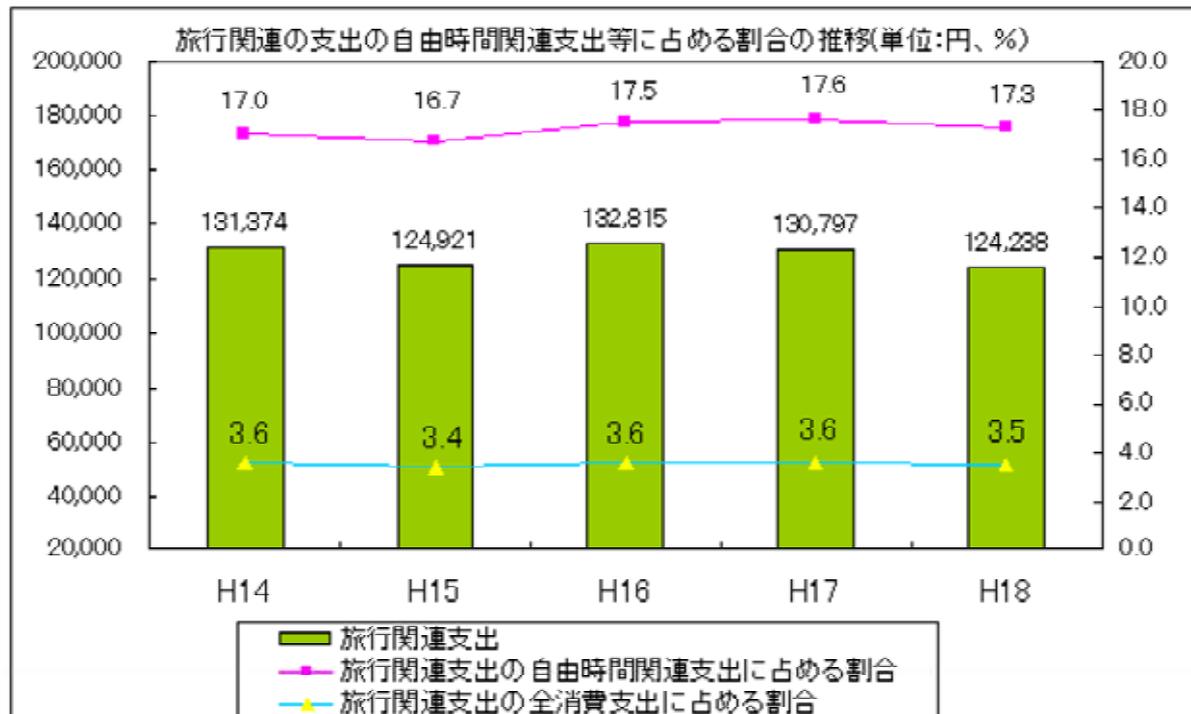
日本人の海外旅行者の旅行日数では、5日以内の比率は年々増加しているが、10日以内、20日以内の比率は年々減少している。



資料：国土交通省「平成19年版観光白書」より作成

エ 国内宿泊旅行の一人当たり年間消費額

1世帯当たりの年間の宿泊費やパック旅行等の旅行関連の支出の推移をみると、支出額、割合とも、前年に比べて減少している。



資料：国土交通省「平成19年版観光白書」より作成

オ 旅行目的の推移

国民の国内宿泊旅行先での行動としては、「温泉浴」が最も多く、次いで「自然の風景を見る」、「名所・旧跡を見る」の順となっている。

また、国内宿泊旅行の目的としては、「自然・名所・スポーツ見学・行楽」が最も多く、次いで「温泉に入る・湯治」、「スポーツ・レクリエーション」の順となっている。

国内宿泊旅行先での行動、目的において、「温泉浴・湯治」、「自然に関するメニュー」の順位が高いことが特徴的である。

宿泊観光旅行先での行動(単位:%)

※複数回答

	H15	H16	H17
温泉浴	51.6	51.5	51.0
自然の風景を見る	48.0	42.5	43.2
名所・旧跡を見る	29.3	27.5	25.0
特産品等飲食買い物	25.9	26.3	24.1
動・植物園等見物	18.2	19.4	17.6
レジャーランド・テーマパーク	13.8	15.3	16.0
ドライブ	12.1	11.5	13.4
季節の花見	10.1	7.9	8.4
神仏詣	7.9	8.8	6.7
都会見物	4.8	4.6	4.3

資料: 日本観光協会「観光の実態と志向(第25回)」

宿泊観光旅行の主な目的(単位:%)

	H15	H16	H17
自然・名所・スポーツ見学・行楽	23.9	24.8	24.0
温泉に入る・湯治	20.1	18.9	20.1
スポーツ・レクリエーション	15.5	18.5	18.7
慰安旅行	18.2	16.4	16.0
祭り・イベント	3.2	3.4	4.8
趣味・研究	3.5	3.9	2.9
避暑・避寒以外の保養・休養	2.4	2.3	2.8
神仏詣	2.6	3.3	2.0
避暑・避寒	1.5	1.3	1.8
旅先での出会いや交流	1.4	1.2	1.5
新婚旅行	0.2	0.1	0.2
その他	4.9	3.4	3.9

資料: 日本観光協会「観光の実態と志向(第25回)」

(2) 沖縄の観光の動向

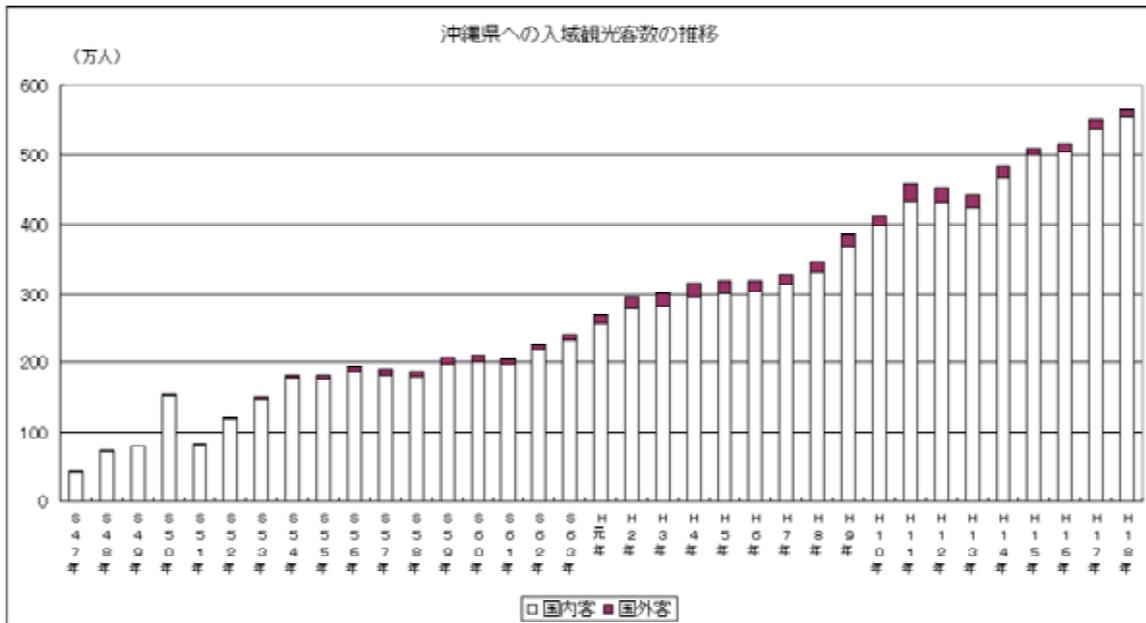
ア 入域観光客の動向

入域観光客数

本県への入域観光客数はおおむね好調に推移している。

米国同時多発テロ事件により平成13年には落ち込んだものの、その後、官民一体となった誘客キャンペーンの展開や離島路線を中心とする航空路線の拡充、美ら海水族館などの大型観光関連施設の開設、大型コンベンションの開催、修学旅行の増加、沖縄人気の高まり、旅行商品の多様化などにより大幅に増加し、平成18年の入域観光客数は過去最高の564万人を記録した。

しかし、入域観光客を国内外別にみると、平成18年においては入域観光客数564万人のうち、外国客は9.3万人（構成比1.7%）にとどまっており、外国客の誘客対策の強化が求められている。



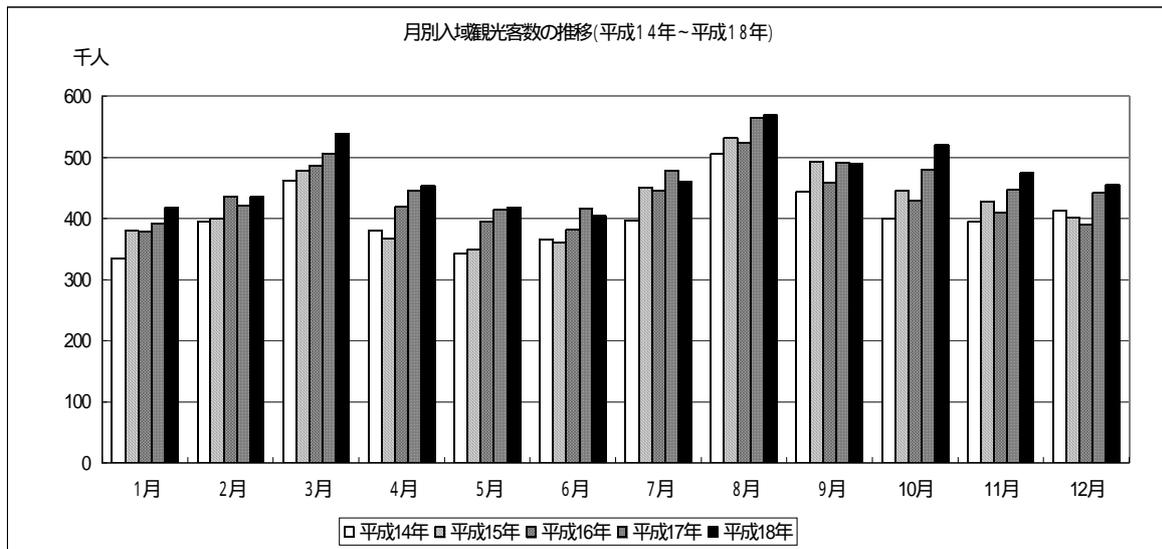
資料：沖縄県観光要覧

月別の動向

入域観光客の月別変動をみると、誘客キャンペーンの実施や修学旅行の誘致、リゾートウエディングなど新規市場の開拓等によりボトム期が底上げされ、平準化が図られつつある。

しかし、さらなる入域観光客数の増加を達成し、観光関連産業の健全育成や観光産業従事者の雇用安定を図るためにも、新たなマーケットの開拓など、さらなる通

年化に向けた取り組みが求められている。



資料：沖縄県観光要覧

地域別の観光客の動向

平成15年度と平成18年度の航空乗客アンケート調査の結果を比較すると、観光客の旅行先の内訳は、沖縄本島は+2.1%、宮古島及び周辺離島は+3.0%、石垣島及び周辺離島は+1.8%となっているが、沖縄本島周辺離島は、-2.4%となっている。

また、平成18年の主要離島への入域観光客数をみると、石垣島77万人(対平成14年比+25.9%)、宮古島40万人(同+16.8%)、久米島9.1万人(同+4.6%)、座間味村8.5万人(同+5.6%)、渡嘉敷村10.5万人(同+4.9%)となっており、リピーターの増加や離島人気の高まりを背景におおむね増加傾向にあるものの、沖縄本島周辺離島への入れ込みは伸びていない。

観光客の旅行先

(単位：%)

	H15年度	H18年度	H18-H15
沖縄本島	82.3	84.4	+2.1
沖縄本島周辺離島(久米島含む)	9.1	6.7	-2.4
宮古島及び周辺離島	3.9	6.9	+3.0
石垣島及び周辺離島	14.9	16.7	+1.8

資料：沖縄県観光統計実態調査(航空乗客アンケート調査)

主要離島への入込観光客数

(単位:千人、%)

	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H18/H14
石垣島	613	696	716	751	772	125.9%
宮古島	340	369	392	399	397	116.8%
久米島	87	100	95	95	91	104.6%
座間味島	90	96	85	88	85	94.4%
渡嘉敷島	110	113	96	104	105	95.5%
(参考)県全体	4,835	5,085	5,153	5,500	5,638	116.6%

資料: 沖縄県観光要覧、座間味村、渡嘉敷村

航空路・航路別入域観光客数

平成18年における航空路・航路別の入域観光客数は、東京方面214万人(対平成14年比+20.3%)、関西方面110万人(同+27.7%)、福岡方面68万人(同+10.2%)、名古屋方面49万人(同+27.1%)、その他方面が81万人(4.2%)となっている。

東京、関西、名古屋方面は、観光客全体に占める構成比も増加しており、都市圏からの観光客が増加傾向にある。

航空路・航路別観光客数

航路	平成14年		平成18年		
	観光客数(人)	構成比(%)	観光客数(人)	構成比(%)	H18/H14(%)
東京方面	2,137,200	44.2%	2,571,400	45.6%	120.3%
関西方面	858,000	17.7%	1,095,400	19.4%	127.7%
福岡方面	616,200	12.7%	679,200	12.0%	110.2%
名古屋方面	382,500	7.9%	486,300	8.6%	127.1%
その他方面	840,600	17.4%	805,500	14.3%	95.8%
合計	4,834,500	-	5,637,800	-	-

資料: 沖縄県観光要覧